

行 政 報 告

令和 7 年 1 月 2 日

令和7年清瀬市議会第4回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

はじめに、令和8年度の予算編成について申し上げます。

日本経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している最中にあります。また、先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が、緩やかな回復を支えることが期待される一方、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響などへの留意が必要であるといった状況であります。

そうしたなか、先に発表された国の令和8年度予算概算要求額は、総額122兆4,454億円と3年連続で過去最大を更新しております。

また、東京都におきましては、令和8年度予算を、「2050東京戦略」の迅速かつ確実な実行に向け、大都市東京の強みを遺憾なく發揮し、明るい未来を実現する予算と位置づけ、予算編成が進められております。

このようななか、現在、当市におきましても令和8年度予算編成を進めておりますが、まず歳入の見込みでは、市税は增收が見込まれるもの、增收幅は僅少であります。地方交付税についても、国の概算要求をみると、交付団体を始め地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額について、令和7年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされておりますが、現下の物価高騰や人件費上昇の最中にあっては、当市の財政状況が

好転することを期待できる状況にはないものと見込んでおります。

歳出では、物価高騰、人件費上昇が続く中で、南部児童館等複合施設に係る指定管理委託料や新校建設事業をはじめ、個別施設計画に基づく各公共施設の改修など、大きな財源を伴う事業が予定されているほか、生活保護費、自立支援給付費などの社会保障関係経費の増額も見込まれております。

このようなことから、令和8年度の予算編成は例年にも増して大変厳しく、困難を伴うものになると考えております。「第5次清瀬市長期総合計画・実行計画」元年ということになりますが、当該計画に掲げる事業の着実な実施を原則としながら、持続可能な行財政運営に向けて徹底した歳入歳出改革に取り組んでまいります。また、南部児童館等複合施設のオープンを皮切りに、市全体でにぎわいを創出し、選ばれるまちを目指した取り組みの推進を図ってまいります。さらに、妊娠、出産、子育て、教育環境から家庭を支える総合的なサポートを行い、子どもに笑顔があふれ、子どもを産み育てたいと思うまちを実現して参ります。

このほか、SDGs 未来都市としての責務を踏まえたゼロカーボンシティの実現、自治体DXの推進など、市民生活の支援や地域経済の活性化に努め、第5次清瀬市長期総合計画・実行計画元年にふさわしい、新たな、そして良いスタートを切ることができるように、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

次に、南部児童館等複合施設及び中央公園整備工事について2点申し上げます。

1点目は、工事の進捗状況について申し上げます。

令和6年8月6日に着手しました整備工事ですが、進捗状況は順調であり、当初からの予定どおり令和8年2月には複合施設と公園の一部がオープンする予定でございます。そして中央公園全体の完成・オープンは令和8年10月を予定しております。

9月21日には市民を対象とした工事現場見学会を開催いたしました。午前に2回、午後に1回開催し、72人の市民の皆様にご参加いただきました。見学会では「オープンへの期待感が高まった」「大人も子どもも楽しめそう」「施設の完成が楽しみ」と大変好評をいただき、多くの市民の皆様から新施設への関心と期待を感じられる機会となりました。

2点目は、夢空間復活プロジェクトクラウドファンディング第2弾について申し上げます。

9月1日から11月30日まで、クラウドファンディングを実施いたしましたところ、市民の皆様をはじめ、全国の皆様から延べ157人、321万2千64円もの温かいご支援と多くの応援メッセージをいただきました。ご支援いただいた皆様からのご期待にお応えできるよう、しっかりと修復を行い、車両を活用して皆様にお楽しみいただきながら、保存してまいりたいと考えております。

次に、清瀬市大江戸線等新駅建設推進期成同盟会の設立について申し上げます。

都市高速鉄道12号線の延伸につきましては、清瀬市、新座市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会」に加入し、要望活動を行っているところですが、市を挙げた積極的な運動を展開するため、「清瀬市大江戸線等新駅建設推進期成同盟会」の設立準備を進めてまいりました。

準備会を経て、10月23日に設立総会を開催し、正式に同盟会を発足させました。総会では会の規約や役員構成を決定し、今後の活動方針を確認いたしました。今後は、都市高速鉄道12号線等の新駅建設の早期実現に向けた働きかけをより一層強化してまいります。

次に、清瀬市と西武鉄道株式会社との地域活性化包括連携協定の締結について申し上げます。

本市と西武鉄道株式会社は10月8日に、清瀬市と西武鉄道株式会社との地域活性化包括連携協定を締結いたしました。それぞれの資源やノウハウを有効に活用した相互連携・協力によるまちづくりを推進することで、地域の活性化と市民サービスの向上を図り、持続可能な地域社会の形成に寄与することを目的としております。

今後、本協定の下、両者の連携を一層深め、賑わいの創出や地域の魅力向上につながる取り組みを積極的に展開し、定住人口、交流人口及び関係人口の増加を通じてさらなる価値向上に向けた施策を推進してまいります。

次に、シティプロモーション事業について、申し上げます。

はじめに、清瀬市市制施行55周年記念映画について申し上げます。

本年10月1日の清瀬市市制施行55周年を記念して、本市を舞台にした映画「Hello, my friend (ハロー・マイフレンド)」を制作いたしました。

この映画は、市民の皆様との協働に重点を置き制作を進め、各種ワークショップに参加いただいたほか、エキストラや撮影にも多大なご協力をいただきました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

本年10月5日に清瀬けやきホールで試写会を実施し、観覧された皆様から

は、大変ご好評をいただいているので、ご期待いただきたく存じます。

一般上映は、令和8年2月20日（金曜日）からユナイテッドシネマ新座での先行上映を皮切りに、3月14日（土曜日）からは、新宿ケーズシネマにて上映を予定しております。配給会社からは、今後も上映する映画館を随時増やしていくと伺っております。

映画の撮影地は全て清瀬市内となっておりますので、本市のシティプロモーション向上や新たな魅力の発見につながるものと期待しております。ぜひ映画館まで足をお運びいただけましたら幸いでございます。

2点目は、清瀬結核サミット2025について申し上げます。

清瀬市と結核療養との関わりを広く国内外にプロモーションするとともに後世に引き継いでいくため、「清瀬結核サミット2025」を11月28日に清瀬けやきホールにて開催いたしました。

清瀬結核サミットは、本市とともに結核撲滅に向けて活動されている公益財団法人結核予防会様、日本ビーシージー製造株式会社様とともに企画、開催した初めての試みでございます。

会場には、結核予防会総裁であられる秋篠宮皇嗣妃殿下がお成りになり、市内在住・在学の中高生から成る「清瀬結核サミットアンバサダー」の皆様に直接お声掛けをいただきました。妃殿下が本市にお成りになるのは、令和4年4月、令和5年4月、令和6年4月に続き4回目となり、大変な名誉なことでございます。

今回のサミットでは、本市と結核療養との関わりと歴史を新たに制作した動画でご紹介したほか、結核研究所の先生方による基調講演、清瀬で治療された患者の実体験、JICA国際研修員による各国の結核事情の報告、清瀬と結核療養との関わりと歴史を後世に伝えていくための養成講座を受講してくださった「清瀬結核サミットアンバサダー」の皆様による感想発表、結核予防会理事長で、

WHO 西太平洋地域事務局名誉事務局長の尾身 茂先生による特別講演をいただきました。

「清瀬結核サミット」への市民の関心は大変高く、事前の参加者募集期間中に応募を締め切らせていただくほど、多くの方にご参加いただきました。

今回のサミットを通じ、多くの皆様に清瀬と結核療養との関わりとその尊い歴史について深くご理解いただき、清瀬に誇りや愛着を抱いていただけたものと考えております。

今後も引き続き、本市と結核療養との関わりと歴史について、清瀬結核サミットアンバサダーの皆様とともに、国内外に向けて積極的に発信してまいります。

次に、自走式水洗トイレカーの提供に関する協定の締結について申し上げます。

10月2日に、本市と清瀬市清掃事業協同組合と自走式水洗トイレカーの提供に関する協定を締結いたしました。本協定により、災害時における市内避難所等での使用を始め、被災した自治体等から支援要請があった場合は、トイレカーを派遣することも可能となります。

今後は、平時におきましても、市のイベント等でトイレカーの展示などを実施していく、防災活動の周知に努めるとともに、引き続き市民の皆様の安全安心のため、防災体制の強化に取り組んでまいります。

次に、敬老記念事業について申し上げます。

高齢者の皆様を敬愛するとともに、地域での支え合いの仕組みづくりや高齢者福祉への理解と関心をより一層深めることを目的に、9月と10月に敬老記念事業を実施いたしました。

10月17日には、「敬老・芸能大会」をけやきホールにて、清瀬市シニアクラブ連合会と合同で開催いたしました。

当日の運営を清瀬市シニアクラブ連合会にお願いし、シニアクラブの皆様には、日頃から熱心に活動されている成果を披露していただきました。

また、市内のサロン団体や清瀬商工会にご協力いただき、きよせふれあいウォーキングビンゴの実施や、きよせニンニンポイントアプリクーポンを配布いたしました。

多くの方にご参加いただき、心から敬老のお祝いをすることができました。今後も、地域との繋がりを大切にする取り組みに重点をおいて、サロンやシニアクラブといった地域での活動に多くの方に参加していただけるような敬老記念事業を実施してまいります。

次に、第30回アイレックまつりについて申し上げます。

アイレックまつり実行委員会では「節目の年を迎えた今、これまでの歩みを振り返るだけでなく、これからの中未来に向けて、『私たちは何を考え、どう動いていくべきか』とともに見つめ直す機会にしたい」という主旨のもと、10月11日、12日の2日間、イベントを開催いたしました。若い世代に人気のある漫画家の瀧波ユカリ（たきなみゆかり）さんとライターの武田砂鉄（たけださてつ）さんのトークセッションには150人を超える皆様が参加いたしました。

また、開設30周年を迎えたアイレックの記念事業と連動した「男女共同参画ポスター」の優秀作品の展示も併せて行いました。

今後も市民の皆様による実行委員会とともに、様々な企画に取り組んでまいります。

次に、ことりばビジネスチャレンジコンテストについて申し上げます。

清瀬市での起業を応援する「ビジネスチャレンジコンテスト最終審査」が、10月17日に開催されました。ファイナリスト5人による地域課題の解決や新しい働き方の提案など清瀬市の未来を意識したビジネスアイデアのプレゼンテーションをしていただき家事と介護のお手伝いサービスを事業化している「青木哲哉（あおきてつや）」さんがグランプリと決定いたしました。

青木さんをはじめ、参加いただいた皆様には、ビジネスを通じて本市でご活躍されることを願っております。

次に、きよせ市民まつり 2025について申し上げます。

10月19日に、きよせ市民まつり 2025を開催いたしました。

本年は、市民の皆様による出店やステージ発表のほか、新たに少人数でも参加できる第2ステージ、ミニSLやボンネットバス乗車体験などを実施し、子どもたちの喜ぶ声が響き渡る、にぎやかな雰囲気の中、盛大に開催することができました。

また、会場には、北海道津別町の佐藤町長、北海道音威子府村の遠藤村長、福島県北塩原村の遠藤村長にもご出席を賜りましたほか、長野県坂城町や長野県立科町など、交流のある自治体の皆様にもご参加いただき、来場した皆様に各地域の特産品を楽しんでいただくとともに、様々な地域との連携を通じた地域の活性化につながったものと考えております。

途中、一時雨天となってしまいましたが、大変多くの皆様に市民まつりを楽しんでいただくことができ、地域の絆を深め、新たな交流を発見する機会を創出することができたものと考えております。次回以降も様々な工夫を凝らし、市民の皆様に、より一層楽しんでいただける市民まつりを目指してまいります。

次に、ひまわりフェスティバル写真・写生コンテストについて申し上げます。

第15回清瀬ひまわりフェスティバルにおいて募集した、写真・写生コンテストの受賞作品22点の表彰式を10月25日に行いました。

受賞された作品は、市役所2階ギャラリーにおいて、表彰式終了後から11月3日まで一般公開し、来庁された多くの方に清瀬のひまわりを題材とした絵や写真を堪能いただきました。

なお、受賞作品は市のホームページに掲載していますので、是非ご覧くださいますようお願い申し上げます。

次に、清瀬市農業まつりについて申し上げます。

コミュニティプラザひまわりを会場に11月15日、16日の両日、清瀬市農業まつりを開催いたしました。

今年も近年同様、記録的な猛暑の影響などにより農畜産物品評会への出品が大変危ぶまれた状況でしたが、生産者の高い技術力によりすばらしい農畜産物が生産され、審査員より高い評価をいただきました。

このほか、地元産農産物でできた宝船の展示とチャリティー配布、花・植木・野菜の販売をはじめ、女性農業者などの有志によるフラダンスや下宿囃子が披露されたほか、友好交流都市であります立科町からもご参加いただき、立科産の物産の販売や清瀬市観光協会によりオリジナルの地域産品も販売され、収穫を祝う秋の祭典として活気あふれる農業まつりとなりました。

次に、清瀬市観光協会関連について3点申し上げます。

はじめに、清瀬とておきの「クラフトな夜」について申し上げます。

清瀬市観光協会主催のイベント「清瀬とておきのクラフトな夜」が、10月から11月にかけて清瀬市役所4階の展望ロビーで開催されました。夕暮れ時の美しい景色の中、ジン、日本酒、テキーラ、カクテルをテーマにした全4回のイベントでは、それぞれのお酒についてのトークセッションや地元のフード、産品が提供され、参加者の皆様には清瀬ならではの“大人の夜時間”を楽しんでいただきました。

さらに、イベントでは清瀬産の「きよはち」を使用したオリジナルジン「きよはちジン」のお披露目や、「日本酒きよせ」の新ラベル発表も行い、清瀬ならではの地域産品の魅力をPRする場ともなりました。

2点目に、TOKYO 周穫祭2025への出店について申し上げます。

11月22日、23日に東京国際フォーラムにて開催された TOKYO 周穫祭2025にブース出店をしてまいりました。

TOKYO 周穫祭は公益財団法人東京観光財団が主催する、都内の観光協会のブースや東京の味を楽しめるキッチンカーが集まるイベントとなっており、速報値ではございますが、今年度は2日間合計で5万3千人の方が来場されたとのことでございます。

清瀬市観光協会は清瀬市オリジナル商品や地場産品、採れたて清瀬産野菜の販売を行いました。また、イベントと雑誌オレンジページがコラボレーションしたキッチンカーにおいても清瀬市産にんじんを使ったメニューが提供されました。観光協会ブース、キッチンカー共に、大変多くの方に訪れていただき、清瀬市の魅力をPRすることができました。

3点目に、清瀬市観光協会開発の新商品について申し上げます。

清瀬市観光協会では9月から10月にかけて新商品の販売を開始しました。

はじめに地元・清瀬産の堆肥で育てたとうもろこしをパウダーにして使用した「きよせ棒」第2弾コーンポタージュ味は、優しい味で好評を頂いております。とうもろこしは「芯」まで丸ごとパウダーにしており、食用としては通常廃棄される「芯」まで使用することにより、SDGs の推進にも寄与する商品となっております。また、「株式会社ゴーゴーカレーグループ」とコラボした「キヨセゴーゴーカレー」は、市制55周年にちなみ5,555食限定で販売しており、清瀬産にんじんの食感を楽しめる工夫が特徴となっております。さらに、市役所屋上で採蜜した蜂蜜を使ったクラフトジン「きよはちジン」は、限定200本で販売開始後ほぼ完売の状況となっております。最後に、せんべ味億本舗と共同開発した「やさいあられ」は清瀬産とうもろこしやごぼうなどをパウダーにしてまぶした彩り豊かな商品となっております。

これらの商品は市役所1階売店や市内各販売店で購入可能となっておりますので、ぜひ清瀬の味をご堪能いただきたいと思います。

次に、秋の市民ラジオ体操大会について申し上げます。

11月22日、「秋の市民ラジオ体操大会」をコミュニティプラザひまわり多目的屋内ひろばにて開催いたしました。本大会は、市民の健康づくりやスポーツを身近に楽しむ機会を提供することを目的として、「一般社団法人 簡易保険加入者協会」様によるラジオ体操講師派遣のご支援を受けて開催いたしました。

当日は56人の参加をいただき、NPO法人全国ラジオ体操連盟指導委員の小坂愛先生、田村恵美先生のご指導のもと、参加者の皆様に「ラジオ体操第一」「ラジオ体操第二」「みんなの体操」の実技を学んでいただきました。参加の方々からは「一つひとつの動作の意味やそれを踏まえた体の動かし方がわかつた」「プロの方の実技を間近で拝見しても感動した」「意識して毎日続けたい」

といったご感想をいただくなど、大変好評のうちに終了いたしました。

本大会の開催にあたっては、市内の公園や広場で日々活動を行い、学校などでも児童や生徒への実技指導をいただいている「清瀬市ラジオ体操連盟」の皆様に当日の会場設営等全面的なご協力をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。

今後も引き続き、関係機関との連携を深めながら、市民の皆様が気軽に健康づくりや運動に親しめるよう、さまざまな機会を提供するとともに、これらの活動の支援に取り組んでまいります。

次に、水道料金の基本料無償化について申し上げます。

物価高騰の影響が続く中、東京都において、都民の皆様の命と健康を守るため、今年度の夏に限り 4 か月分の水道料金の基本料無償化を実施したところでございます。

一方で、埼玉県等の他の自治体の水道を使用している都民の皆様につきましては、東京都の基本料無償化の対象外であることから、清瀬市としましては、東京都から水道の供給を受けておらず、また、東京都が実施する水道料金の基本料の減免措置を受けることができない、所沢市や新座市の水道を使用している 12 世帯の市民の皆様を対象に、東京都の事業の対象者と同様の支援を受けられるよう、都からの交付金を活用し、水道料金の基本料相当分を補助することとした。今後も、市民の皆様の生活に寄り添った支援を実施してまいります。

次に、システム標準化について申し上げます。

12月22日より、住民基本台帳システムなどの『システム標準化』に対応いたします。システム標準化は、国が進めるシステム最適化への取り組みです。

システム標準化により、システムで管理するデータ項目や形式が統一されることで、将来的な財政的負担の軽減が見込めます。また、国が定めた高いセキュリティ要件を満たした環境で運用され、データ保存の安全性が向上することで、皆様の大切な住民情報をさらに安全に管理してまいります。

次に、府内プロジェクトチームの発足について申し上げます。

この度、課長級職員の有志8人による「課題解決等プロジェクトチーム」が発足しました。

本プロジェクトチームでは、日常的な事務執行に関する課題を解決するため、いくつかのテーマについて調査研究をしており、現場に山積する課題を肌で感じている管理職が、このようなチームを自主的に立ち上げ、課題解決しようと取り組んでいることは大変喜ばしいことと受け止めております。

以上のほか、本定例会には、清瀬市一般会計補正予算などの案件をご提案申し上げておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げ、行政報告といたします。